

国内クレジット認証委員会御中

実績確認概要書

平成 22 年 9 月 8 日

審査機関名 株式会社日本スマートエナジー

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	KB セーレン株式会社長浜工場における石炭・重油ボイラーから都市ガスボイラーへの更新
承認番号	JCDM-PJ0020
排出削減事業者名	KB セーレン株式会社
排出削減共同実施事業者名	株式会社滋賀銀行、オリックス株式会社 (その他関連事業者名：大阪ガス株式会社)
事業実施場所	KB セーレン株式会社 長浜工場 (滋賀県長浜市鐘紡町 1-11)
事業の概要	本事業は、KB セーレン株式会社長浜工場の製造工程における乾燥・水洗や室内空調設備への熱源供給のために使用されている石炭及び重油ボイラーを、高効率の都市ガスボイラー（貫流ボイラー）へ更新することである。この更新により、エネルギー使用効率の改善に加え、単位発熱量あたりの二酸化炭素発生量の小さい都市ガスへの転換により、二酸化炭素排出量の削減を図る。
排出削減量の計画	3,885tCO ₂ /年 (事業実施期間合計 16,119tCO ₂)
国内クレジット認証期間	事業開始日 2008年8月16日 終了予定日 2013年3月31日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

2. 本実績確認の対象期間

2008年8月16日～2010年3月31日（第1回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	5,010tCO ₂ (2008年8月16日～2010年3月31日)
-------	---

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。 1) 承認排出削減事業計画通りに、石炭及び重油ボイラーから高効率の都市ガスボイラーへ更新していることを事前審査の現地訪問の際に確認している。 2) 本実績報告期間において導入設備が稼働していることを、本実績報告期間における都市ガス使用量の確認や現地訪問時の視認により確認している。 3) 事業開始日が承認排出削減事業計画通りであることを、工事終了確認書や関係者への質問により確認した。 4) その他、本事業に承認排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法については、現地訪問時の目視確認、審査に立ち会った関係者への質問、ガス検針票の集計及びボイラー稼働時間の確認により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画書通り、モニタリングが実施されていることを確認している。 2) 活動量の正確性については、現地訪問時の目視確認、審査に立ち会った関係者への質問、ガス検針票の集計及びボイラー稼働時間の確認により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画書通り、エネルギー使用量の記

	<p>録・保管が適切になされており、正確に集計されていることを確認している。</p> <p>3) 排出削減量の算定式及び使用されている排出係数等が、最新の排出削減方法論（別表）及び承認排出削減事業計画書通りであることを確認している。</p> <p>4) 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果をモニタリング結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認している。</p> <p>5) その他、排出削減量の算定において重大な変更はなされていないことを確認した。</p>
<p>算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと</p>	<p>本実績確認の対象期間は、2008 年 8 月 16 日～2010 年 3 月 31 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないことを確認している。</p>

5. 特記事項

確認した排出削減量に相当する省エネ量について、原油換算 269.5k1 であることを確認した。